

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	おみごと農業研修推進事業
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人おみごと (Tel 0263-50-6150)
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に関する事業 イ 農業の振興と農山村づくり (8) その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,487,625 円 (うち支援金: 1,173,000 円)

事業内容

高齢化による担い手不足、農地の遊休荒廃化が進む麻績村において、都市部から村へ移住した農業を学ぶ志のある地域おこし協力隊を農業研修生として受け入れ、以下の事業を行うことで、麻績村における農業振興と次世代の担い手育成を推進する。

(1) ブランド化・商品化事業

昨年醸造したりんごワイン・シードルの試飲会の実施や、糖度測定器の導入により新たな加工品の提案や高品質は商品を提供できる体制を整えた。

(2) 販売研修事業

都市圏での物産展等イベントに参加し販売しながら村のPRを行うとともに販売の方法について学んだ。

(3) 交流事業

村内イベントへの積極参加や農業体験ツアー実施等、地域や都市との交流を推進し、村内外の参加者との関係づくりを行う機会とした。



【農業研修の様子】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

① 遊休荒廃農地の有効活用による農業振興

- ・りんご栽培面積の拡大により、遊休荒廃農地の農地再生面積を3.4ha→4.3haまで拡大。当初計画(3.9ha)を上回る数値を達成した。
- ・既存農作物を活用した新たな商品を周知することで、村内における農作物の加工方法について新たな提案を行うことができた。
- ・収穫作物を選別し、商品価値を高める環境を整えることができた。

② 農業研修を通じた次世代の担い手育成

- ・農業研修生5名が、育成・管理等の栽培技術から販売、農業経営の基礎まで、農業に関する様々な技能・知識を習得。
- ・物産イベントや農業体験ツアー等を村民との協力により実施し、地域との結びつきが強まり、就農・定住するための協力関係を築くことができた。
- ・農業研修生自身が指導を経験することにより、知識の確認、定着を図ることができた。

【目標・ねらい】

- ① 遊休荒廃農地の有効活用による農業振興
- ② 農業研修を通じた次世代の担い手育成

※自己評価【A】

【理由】

最重要課題である遊休荒廃農地の再生について、予定を上回る面積となったため。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

本事業の内容を充実させつつ、更なる農地の有効活用と生産拡大、農産物のブランド力強化及び都市交流による地域活性化を実現し、次世代の担い手を育成していくため、事業を継続・拡大させていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある